

分光器の測定

小型・安価な分光器で簡単に測定できます。紫外～近赤外まで、ランプ、太陽光、LED、プラズマなど、付属のソフトで手軽に分光測定できます。また、サンプルの反射率や透過率も測定できます。測定方法や使用例をご紹介します。

測定方法

構成(各製品はオプションページ参照) 1 分光器(測定範囲 200～850nm)、2 ファイバ

1、USB ケーブルで分光器とパソコンを接続します。



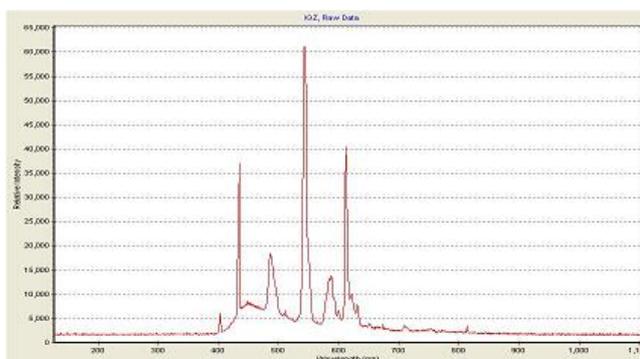
2、分光器にファイバを挿します。



3、ファイバの反対側を光源(ランプや太陽など)に向けます。



4、光のスペクトルが表示されます(下図は蛍光灯)。



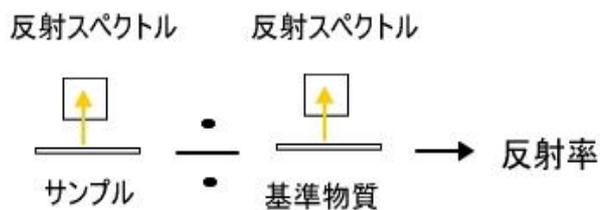
反射率測定

1 分光器、2 ファイバ、3 積分球付光源

1、分光器と積分球付光源をファイバで接続します。



2、基準とサンプルのスペクトルを比べて、反射率を出します。

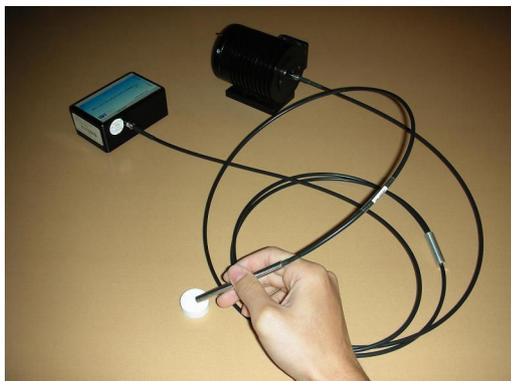


最初に、白色板など基準の反射光を測定し、次にサンプルの反射光を測定します。

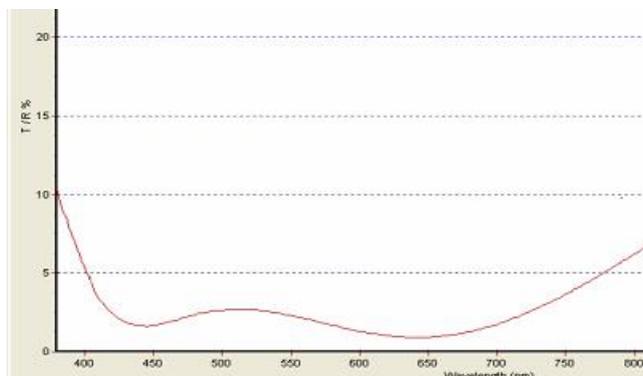
付属ソフトは、「サンプルの反射光÷基準の反射光」を自動計算し、各波長の反射・吸収スペクトルを表示します。

反射ファイバおよび光源を使うと(下図)、より簡単に測定できます。

反射ファイバの使用例



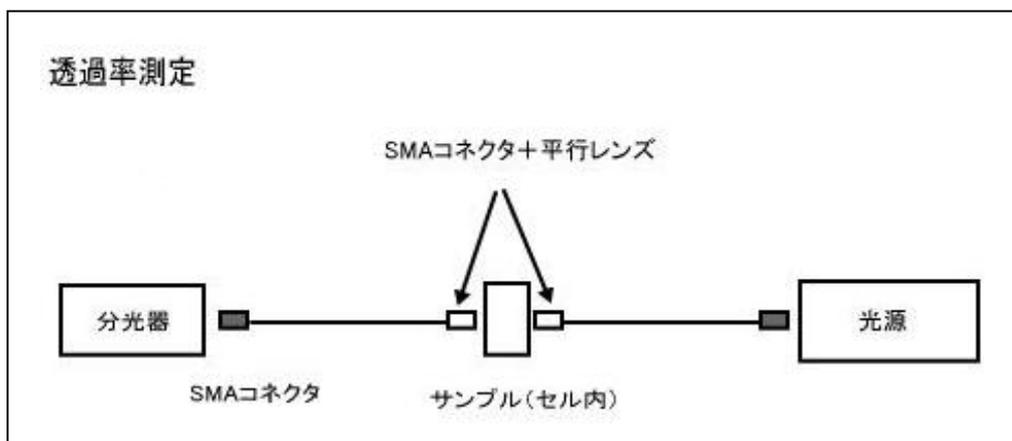
レンズの反射率(ARコーティング有無の比較)



透過率測定

1、分光器 - ファイバ - サンプルホルダ(液体・固体)- ファイバ - 光源の順で接続します。

2、基準(純水や空気など)とサンプルの透過スペクトルを比べて、透過率を出します



セルホルダ(液体用)



ファイバ付光源



ご希望の用途や仕様に合わせて、ご提案できますので、お気軽にご相談ください。



有限会社 たきぶん

製品のお問い合わせは

TEL: 03-6411-5320

Email: sales@takibun.jp